

※本リリースに関するの本人稼働可能日は 6/30・7/1・7/2 の予定です。



いちばん聴きたい bird サウンドが帰ってきた！
真心ブラザーズの必殺サマー・チューン「サマーヌード」、
そして、ノーランズの大ヒット曲「ダンシング・シスター」を
bird オリジナル日本語詞でカバーした強力両 A 面シングル!!

bird

New Single

2008.7.23

UPCH-5549
1,000YEN (tax in)

ON SALE!!

サマーヌード / ダンシング・シスター

1. サマーヌード
2. ダンシング・シスター
3. サマーヌード (Instrumental)
4. ダンシング・シスター (Instrumental)
5. ダンシング・シスター (Remixed by cargo)

2007年、“キリン・ザ・ゴールド CMソング”として年内を通してオンエアされた「BATUCADA-バトゥカダ-」がスマッシュ・ヒットを記録し、初のカヴァー作品「BIRDSONG EP-cover BEATS for the party-」では様々なアーティストとのコラボレーションにより新境地をアピールした bird。その円熟した表現力にさらなる評価が高まる中、2008年はデビュー10周年目という大きな節目になります。その記念すべき年の第1弾リリースが決定しました!! 真心ブラザーズの必殺サマー・チューン「サマーヌード」そしてあのノー

ランズの大ヒット曲「ダンシング・シスター」を bird オリジナルの日本語詞でカバー!! 両 A 面シングルとしてお届けします!

10年という活動の中で、“歌うこと”の原点に立ち返った意識からスタートしたカヴァー・ワークス。時代を超えた様々なメロディたちに触れることで改めてシンガーとしての自分を見つめなおし、歌うことへの喜びを感じている bird が送る、2008年夏、パッケージ・トラックの決定盤です!

「BEATS」「オアシス」「LIFE (Mondo Grosso feat. bird)」などラテン、ブラジリアン・フレーバーをエッジーにアプローチした音楽でシーンにインパクトを与えた bird。2008年夏、10年の歳月でジャンルレスな音に挑戦し、更なる進化を遂げた bird が、その初期衝動を再びリスナーにお届けします! 夏の季節を彩る“心地よくて・カッコいい”いちばん聴きたい bird サウンドが帰ってきた!!

サウンド面では、「サマーヌード」を自ら bird フォロワーと自認する新進気鋭のトラックメイカー“Kenmochi Hidefumi”がプロデュース。シャープな疾走感、bird のヴォーカル・フローは久々に彼女の本領発揮、まさに真骨頂ともいえる仕上がりになっています! そして「ダンシング・シスター」は《King of diggin'》MURO の制作パートナーを務めるこちららも新進気鋭の次世代アーティスト/トラックメーカー“SUI”が主宰するプロデューサー・プロジェクト“THE BIZZMAFIA”がプロデュース。bird の日本語詞が新鮮な響きを与えてくれます。

この「ダンシング・シスター」はこの後8月6日にリリースされるカヴァー・アルバム「MY LOVE」で「恋とマシンガン」をサウンド・プロデュースする“GOKU & wize (cargo)”のリミックス・ヴァージョンも収録! 聴き応え120%のニュー・シングルです!

サマーヌード

Words : Hidetoshi Sakurai / Yoichi Kuramochi Music : Hidetoshi Sakurai

何か企んでる顔
最後の花火が消えた瞬間
浜には二人だけだからって
波打ち際に走る
Tシャツのままで泳ぎ出す

5秒に一度だけ照らす灯台のピンスポットライト
小さな肩
神様にもバレないよ 地球の裏側で

僕ら今 はしゃぎすぎてる 夏の子供さ
胸と胸 からまる指
ウソだろ 誰か思い出すなんてさ

響くサウンドの波
時が溶けてゆく真夏の夜
夜風は冬からの贈り物
止まらない冗談を諭すよについてくるお月様

走る車の窓に広げはためくTシャツよ
誇らしげ
神様さえ油断する 宇宙の入り口で

目を伏せて その髪の毛で その唇で
いつかの誰かの感触を君は思い出してる

僕はただ 君と二人で通りすぎる
その全てを見届けよう
この目のフィルムに焼こう

そうさ僕ら今 はしゃぎすぎてる 夏の子供さ
胸と胸 からまる指
ごらんよ この白い朝

今はただ 僕ら二人で通りすぎる
その全てを見届けよう
心のすれ違う瞬間でさえも包むように

© 1995 by Newcome Inc. / NIPPON TELEVISION MUSIC CORPORATION

Sound Produced & Arranged by Kenmochi Hidefumi
Back Ground Vocal Arranged by bird
Gut Guitar, Bass, Keyboards & Programming : Kenmochi Hidefumi

Recorded by Kenmochi Hidefumi
/ Osamu "Shu" Imamoto (DOGLUS MUZIK ENGINEER)
at JO-ZAI Studio / studio SUNSHINE
Assisted by Hiroshige "Mr. Great" Saito (studio SUNSHINE)
Mixed by Osamu "Shu" Imamoto (DOGLUS MUZIK ENGINEER) at ANDY'S
STUDIO

ダンシング・シスター

Words & Music : Ben Findon / Mike Myers / Bob Puzey

Japanese Words : bird

踊りたい気分 ロマンズ

今夜は感じてたい

チャンスがめぐる

抱きしめて すべて投げだしてみて

そうよ 踊りたい 音楽に溶けて

もっと 君となら素敵な波に乗れるの

輝く海へ 緑深い山のむこうへ

行けなくてもいい

君とずっと そう抱き合っていたら

今年の夏の思い出ね

そうダンス もっとダンス 踊りましょう

ダンス もっとダンス 踊りましょう

踊りたい気分 ロマンズ

今夜は感じてたい

チャンスがめぐる

君のこと好きになった8月

そうよ 踊りたい リズムにまかせて

もっとキラキラとステップを輝かせて

踊りたい気分 ロマンズ

誰にも止められない

手と手をつないで

くるくるとダンス

もっとダンス 踊りましょう

笑顔がこぼれる

もっとダンス 踊りましょう

生きてるってしるし

もっとダンス 踊りましょう

最高の気分

もっとダンス 踊りましょう

© EMI MUSIC PUBLISHING (WP) LTD.

Sound Produced & Arranged by THE BIZZMAFIA

Back Ground Vocal Arranged by bird

All Instruments : SUI & Shuntaro Takabatake

Additional Bass : Tomoyuki Ishikawa

Recorded by SUI for THE BIZZMAFIA

& Osamu "Shu" Imamoto (DOGLUS MUZIK ENGINEER)

at K7STUDIO / AZABU WEST STUDIO

Assisted by Kozo Miyamoto (AZABU WEST STUDIO)

Mixed by Osamu "Shu" Imamoto (DOGLUS MUZIK ENGINEER) at

ANDY'S STUDIO

【サウンドプロデューサーPROFILE】

● Kenmochi Hidefumi

アコースティック楽器の暖かい響きと力強いブローケンビーツを合体させた独特のインストゥルメンタルを打ち出す新進気鋭のアーティスト。ガットギター・ピアノ・ベースを中心に、ミニマムでファットなトラックが特徴的。普段は会社員として働きつつゆっくりマイペースに音楽活動中。作曲・編曲・演奏・録音から作品流通まで、すべてを1人で行っている。これまでに2枚のミニアルバムをCDとアナログレコードで自主制作で発表。外資系レコード店を中心に注目が集まっている。現在は自身初となるフルアルバムを製作中。

Kenmochi Hidefumi OFFICIAL WEB SITE : <http://www.h-kenmochi.com/>

● THE BIZZMAFIA

《King of diggin'》MUROの制作パートナーを務める新進気鋭の次世代アーティスト/トラックメーカー“SUI”が主宰するプロデューサー・プロジェクト。最新作は安室奈美恵「60s 70s 80s」の“ROCK STEADY”、代表作として井上三太氏のHIP HOPアニメ「TOKYO TRIBE 2」サントラ盤がある。

上記はいずれもMUROの TRACK PROGRAMMER,ENGINEERとしてクレジットされており、今回のbird「ダンシング・シスター」がTHE BIZZMAFIAとして初の作品になる。

また個人のレコーディングスタジオ【K7STUDIO】を所有し、国内のストリート・ラッパーからSHOWBIZ,JUST BLAZEなどHIPHOP世界のビッグネームまで、日々ハウススタジオセッションを繰り広げる事が可能という稀な環境・人脈を持つ。K7STUDIOではSUI自らエンジニアとして、トラックメイクからヴォーカルのディレクション、ミックスダウンまで音楽制作一連の流れに手腕を振るう。

SUI OFFICIAL WEB SITE : <http://ameblo.jp/sui-k7/>

● GOKU&wize (cargo)

クラブシーンを軸に国内外問わず活動し、絶大な評価を得てきた4人のアーティスト達が cargo を結成。2004年の活動開始を皮きりに、そのカッティングエッジな感覚が絶賛され、デビュー当時より HMV、タワーレコードなどのチャートを賑わし話題になる。House,Crossover, Drum & Bass などジャンルの垣根を飛び越え、“good music”をキーワードに活動する cargo。05年には IRMA[ITA]を代表する V.A.「sister bossa6」に参加。06年には V.A.King 「The Cover job」、IRMA 「Sister Bossa7」、aperitivo 「aperitivo TOKYO」などに収録された他、ブラジルのアーティスト KALEIDO をプロデュース。1st Full album 「Disc Odyssey」は i-tunes クラブチャート1位を記録。ロングセラーとなる。07年には M-flo、Daishi Dance、Monday 満ちる、Paris Match らと参加した V.A.「Tokyo House Lovers」や、中塚武、Claziquai Project らと参加した DISNEY 楽曲のカバーアルバム「LOVEBEAT DISNEY」が好評を博し、「Ryohei/Cavaca」、「KALEIDO/New Sessions!」、IRMA/V.A.「Sister Bossa8」にも参加。ついに8月、待望の2nd Album 「JEWEL」をリリースし、i-tunes のダンスチャートで1位を記録。リード曲の「Life Is Sweet」はネット等でも話題になり、you tube では、7万アクセスを記録し、現在も伸び続けている。

先行12inchはIRMAからリリースし、DMRの総合チャートで1位を記録するなど、話題には事欠かない。

その後も、Grand GalleryのV.A.「Tokyo Luxury Lounge 3」には DAISHI DANCE, STUDIO APARTMENT、i-dep らと参加、ナイス□本をプロデュースするなど今後の活躍からも目が離せない。

そして、7月には、約一年振りとなる3rd ALBUM 「Morning Star」リリース予定。

cargo OFFICIAL WEB SITE : <http://www.cargo-jp.com/>

カバー・アルバム第2弾リリース！

MY LOVE / bird

2008.8.6 ON SALE !!

[初回盤]UPCH-9428 [通常盤]UPCH-1618 ともに¥2,800 (tax in)

※初回盤のみボーナストラック「BEATS(reggae version)」収録！

“夏の恋の歌”をテーマに楽曲をセレクト。耳なじみのヒット・ソング達が最高の bird サウンドで蘇る！

この夏、一人ひとりの“MY LOVE”を感じ取ってください・・・！

収録楽曲：ダンシング・シスター / ジェットコースター・ロマンス / 青い珊瑚礁 / セロリ / 青い車 /
夏の終りのハーモニー / Point of No Return / 恋とマシンガン / サマーヌード /
Hello, my friend (曲順不同・全 10 曲収録)

【PROFILE】

1975年京都出身。

99年、大沢伸一/MONDO GROSSO主催レーベルより「SOULS」でデビュー。1stアルバム「bird」は合計70万枚を売り上げる。以降は、作曲、プロデュースといったクリエイターとしての才能も発揮。その歌詞と歌声を武器に、あらゆる音楽ジャンルの壁を軽々と飛び越え活躍するその姿勢は、ライブも含め、いずれも高い評価を得る。以来シンガー/音楽家としての地位を不動のものにする。05年には自身初となるベスト・アルバム『bird's nest』を発表。2006年10月4日には2年振りとなるオリジナル・アルバム「BREATH」を発表。ニューアルバムでは富田恵一（富田ラボ）をプロデューサーに迎え、birdの新たな音世界がスタート。

2007年はbird 2007 LIVE!「BREATH」からスタート。麒麟ビール" KIRIN THE GOLD" のTVCMでbirdがカバーしたブラジル/Marcos Valleの名曲「BATUCADA」がスマッシュ・ヒットを記録、その「BATUCADA」を収録した初のカヴァー・アイテム「BIRDSONG EP -cover BEATS for the Party」では多彩なクリエイター達と共演し、新境地を開いた。最近では、彼女が撮影した写真にも注目が集まり、「SANKEI EXPRESS」にてその写真を題材にしたコラム連載もこの春からスタートしている。

●bird オフィシャルHPアドレス

www.bird-watch.net

●birdオフィシャルBLOG

http://blog.goo.ne.jp/birdwatch_blog

【DISCOGRAPHY】

2008.7.4

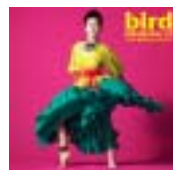
Single



「BATUCADA-バトゥカーダ-」

2008.11.18

Album



「BIRDSONG EP -cover BEATS for the party-」